

## 医療費を節約するための受診の仕方

医療機関での適正受診で、家計のムダな医療費を削減しましょう。

### ☑「かかりつけ医」をもつ

信頼できる「かかりつけ医」がいると安心です。

気になることがあったら、まず、かかりつけ医に相談する習慣をつけましょう。



### ☑本当に必要？「休日や夜間の受診」

休日や夜間の受診は割増料金がかかります。

また、軽傷の受診が緊急性の高い人の治療に支障をきたすおそれもあります。平日の診療時間内に受診できないか、もう一度考えましょう。

### ☑「重複受診」はやめましょう！

同じ病気で複数の医療機関を受診する「重複受診」は、医療費のムダになるだけでなく、治療に支障をきたすこともあります。

### ☑「薬のもらいすぎ」を見直そう！

薬は用量・用法を守って服用しなければ、効果が得られないばかりか、症状が悪化することもあります。むやみに薬をもらわずに、医師の診断と処方信頼しましょう。

## ジェネリック医薬品の利用を！薬の選択は医師や薬剤師と一緒に

ジェネリック医薬品は、低価格なのに、安全性や効き目は新薬と同等と認められています。

安全性も品質もほぼ同じで薬代が節約できるため、医療費も抑制できます。

ジェネリック医薬品を希望する方は、医師へ相談してください。

～自分が使うお薬だからこそ、医師や薬剤師と相談しながら一緒に選びましょう！！～

### ① 医師に相談しながら一緒に選びましょう

現在治療中の方は、ジェネリック医薬品に替えられるか医師と相談しましょう。

### ② 処方せんをチェック

処方せんの「後発医薬品（ジェネリック医薬品）の変更不可」の欄に「✓」・「×」印や医師の署名などがなければ、ジェネリック医薬品に変更できます。

### ③ 薬剤師に相談し、説明を受けましょう

ジェネリック医薬品の特徴、価格、効果、副作用など新薬との違いを薬剤師にたずねましょう。お薬手帳にまとめておくのと相談しやすく便利です。

### ④ 変更できない薬もあります

すべての新薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。医師の判断で変更不可になることもあります。

玖珠町では、現在使用している薬がジェネリック薬品に変更できる方を対象に、薬を変更した場合の負担金差額通知を、年間3回送付しています。どのくらい節約できるか確認してみましょう！